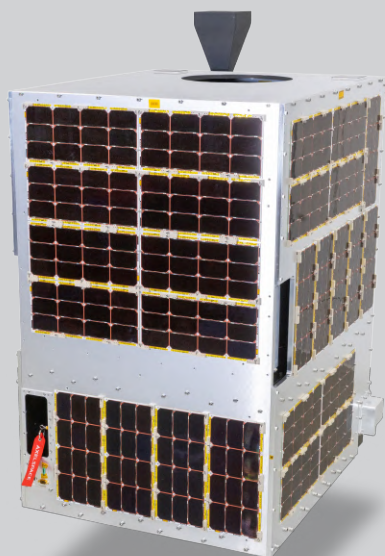


GRUS-3

7 機が実現する、
高頻度・広範囲な地球観測。



GRUS-3（グルーススリー）は、光学センサを搭載した小型の次世代地球観測衛星です。アクセルスペースは 7 機を同時に開発・運用し、広範囲かつ高頻度な地球観測を実現します。

地上分解能は 2.2m、1 機あたりの観測幅は 28.3km、最長観測距離は 1,356km です。7 機が連携することで、1 日最大 230 万 km² を撮影し、北緯・南緯 25 度以上の地域では同一地点を 1 日 1 回の頻度で観測できます。

アクセルスペースは 2019 年以降、地球観測衛星 GRUS-1（グルースワン）による衛星コンステレーションを基に地球観測データ提供事業「AxelGlobe（アクセルグローブ）」を展開してきました。GRUS-3 は、GRUS-1 の後継機として衛星コンステレーションを増強し、地球観測データの提供能力をさらに高めます。

地球観測データ活用領域の拡大

GRUS-3 の光学センサには、GRUS-1 が備えていた 6 つの観測波長帯（パンクロマティック、青、緑、赤、レッドエッジ、近赤外）に加え、コースタルブルーを新たに搭載しました。これらの波長帯を組み合わせると、人の目を見たような地表の色合いや、植物の生育状況のほか、浅海域や沿岸部の水中地形や生態系の観測も可能になります。

コースタルブルーは浅い水中の藻場の分布や生育状況が把握できるため、近年注目されるブルーカーボンの測定など、環境分野での地球観測データ活用も期待されます。

GRUS-3 の観測頻度と観測性能の向上と、衛星の姿勢制御技術を生かしたタスキング撮影（特定エリアを指定した撮影）を組み合わせることで、精密農業、森林監視、地図作成をはじめ、環境や安全保障など幅広い分野で高まるニーズに応えていきます。

所有者：株式会社アクセルスペース

サイズ：幅 960mm×780mm× 高さ 1260mm

質量：約 150kg

運用軌道：太陽同期軌道、高度 585km

打ち上げ日時：2026 年 7 月 7 日（火）

午後 4 時 12 分（日本時間）

ロケット：Falcon 9（SpaceX）

打ち上げインテグレーター：Exolaunch 社

現在：初期運用中

会社概要

AXELSPACE

株式会社アクセルスペース

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町三丁目 3 番 3 号 Clip ニホンバシビル

問合せ：info@axelspace.com

URL：www.axelspace.com/ja/